

東ティロルの空間的構造と人の流れ

山田 徹雄

Raumstruktur und Mobilität in Osttirol

Tetsuo YAMADA

要旨： オーストリア・ティロル州の一部である東ティロル＝リーエンツ郡の社会経済的な空間構造を解明するために、日常的な人の流れを定量的に分析した。その結果、リーエンツ郡全体としては、郡外からの通勤者を上回っていること、そのなかで郡庁所在地ゲマインデ・リーエンツがこの地域の通勤者を集める中核を形成していること、州都インスブルックとの人流的な連関よりもケルンテン州シュピタル・アン・デア・ドラウ郡とのそれが緊密であることを確認した。

キーワード： ティロル州、東ティロル、リーエンツ郡、マルクトゲマンデ・リーエンツ、ケルンテン州シュピタル・アン・デア・ドラウ郡

はじめに

サン＝ジェルマン＝アン＝レー条約 Staatsvertrag von Saint-Germain-en-Laye vom 10. September 1919、(フランス語正文) *Traité de paix entre les Puissances alliées et associées et l'Autriche* をもって、ドイツ語圏「南ティロル」がイタリアに割譲され、「東ティロル」は「北ティロル」と空間的に分離された⁽¹⁾。

このような歴史的な経緯によって現在でも「北ティロル」Nordtirol＝オーストリアのティロル州が南ティロルSüdtirol＝イタリアのトレンティーノ・南ティロル自治州ボーツェン・南ティロル自治県とに分断されていることによって、[地図1]に示したようにティロル州に飛び地が生じている。

本稿は、ティロル州の飛び地となっている「東ティロル」がいかなる空間的な連関を形成しているかを、日常的な人の流れに着目して明らかにする⁽²⁾。

東ティロル Osttirol とは、ティロル州の飛び地であるリーエンツ郡 Bezirk Lienz をいう。

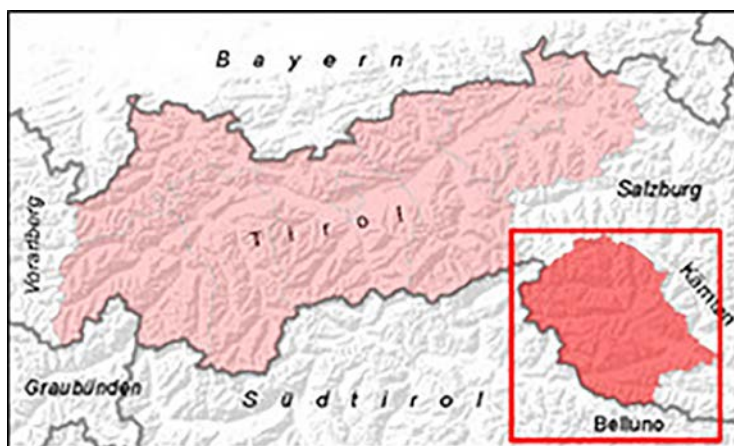
リーエンツ郡が境を接するのは、北部で、ザルツブルク州ツェル郡 Bezirk Zell am See/Pinzgau, Land Salzburg、東部で、ケルンテン州シュピタル郡 Bezirk Spittal an der Drau, Land Kärnten、南東部で、ケルンテン州ヘルマゴール郡 Bezirk Hermagor, Land Kärnten、西部で、トレンティーノ・南ティロル自治州ボーツェン・南ティロル自治県(ドイツ語表記) Autonome Provinz Bozen-Südtirol, Autonome Region Trentino-Südtirol、(イタリア語表記) Provincia autonoma di Bolzano, Regione Autonoma Trentino-Alto Adige、南西部で、ヴェネト州ベッルーノ県 Provincia di Belluno, Regione Veneto である。

東ティロルは、フェルバータウエルン Felbertauern およびプスター渓谷 Pustertal を経由する道路によって北ティロルと結ばれている。

郡内にあるプスター渓谷とイゼル渓谷 Iseltal はリーエンツ盆地へと連なる。郡庁所在地、マルクトゲマインデ・リーエンツには、行政・教育施設、商業・サービス業などの企業が備わっている。これに次ぐ、中心機能を有するのはマトライとジリアンである⁽³⁾。

この三つのゲマインデは、いずれもマルクトゲマンデである⁽⁴⁾。

(地図1) ティロル州と飛び地



(典拠) Bezirk Lienz

1990年代後半の東ティロルの観光業と農業経営について徹底した分析を行った呉羽正昭は、東ティロルを「人口が減少し、経済的基盤が脆弱で、交通条件に恵まれず、さらに観光化が進んでいない地域」とよんだ⁽⁵⁾。

1. リーエンツ郡と交通

(1) リーエンツ郡の道路網

ティロル州の他の地域から切り離されているリーエンツ郡の交通基盤は脆弱である。道路網は、アウトバーンや高速道路から分断され、上級道路としては州道が300km弱、存在するにすぎない。([地図2-1]、[地図2-2] 参照)

(表1) 東ティロルの道路網2019年

	道路延長 km	
	リーエンツ郡	ティロル州全体
アウトバーンおよび高速道路	0.0	223.4
州道	296.4	2,240.0
市町村道路	1,074.2	9,737.6
その他	2,819.8	19,586.4
合計	4,190.4	31,787.4

(典拠) Bezirk Lienz, Statistik 2019, p. 2

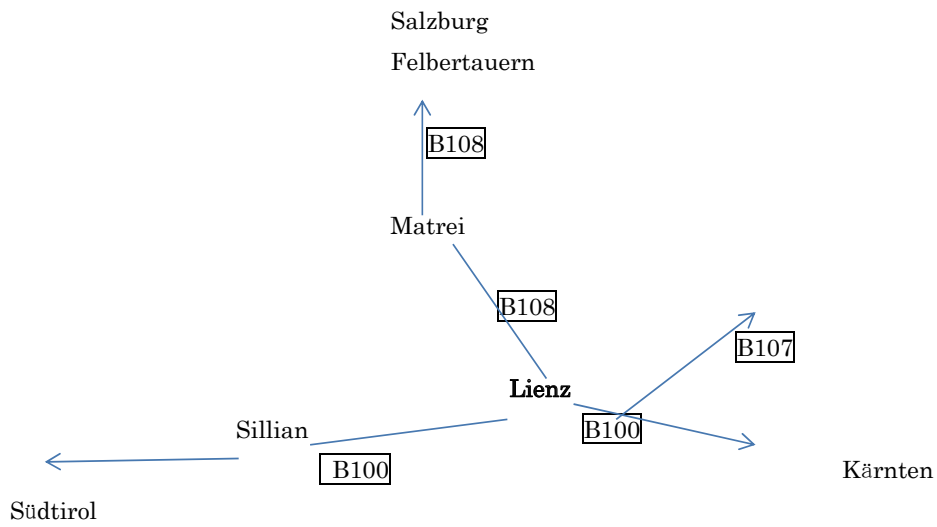
リーエンツ郡の州道には、ジリアンを経てイタリア国境へ向かうドラウ渓谷街道 Drautalstraße (B100)、リーエンツ盆地のデルザッハ Dölsach から北上し、グロスグロックナーの東側からザルツブルク州ツェル・アム・ゼー Zell am See へ向かうグロスグロックナー街道 Gloßglocknerstraße (B107) およびマトライを経てグロスグロックナーの西側からザルツブルク州ミッタージル Mittersill へ向かうフェルバータウエルン街道 Felbertauernstraße (B108) などがある。

B100は東進すると州境を越えて、ケルンテン州に入りシュピタル・アン・デア・ドラウ Spital an der Drau、フィラッハ Villach を経て、ケルンテン方面に向かうアウトバーン (A2) と接続する⁽⁶⁾。

このように州都インスブルックと直結する州道は存在しないが、ケルンテン州、ザルツブルク州、およびイタリア国内の南ティロルとは、道路で連絡している。

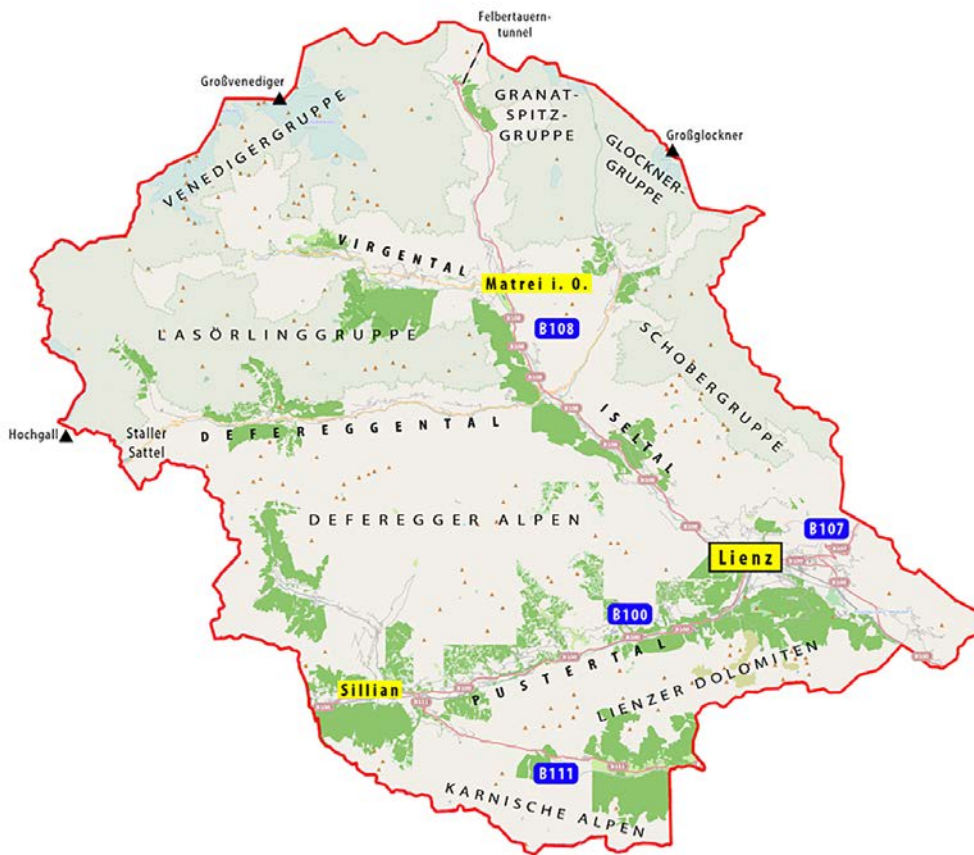
東ティロルの空間的構造と人の流れ

(地図 2-1) 南ティロルの州道概念図



(典拠) 筆者作成

(地図 2-2) 南ティロルの州道



(典拠) East Tyrol map

(2) リーエンツ郡の鉄道

(表2) 東ティロルの鉄道網

	鉄道延長 km	
	リーエンツ郡	ティロル州全体
幹線鉄道 単線	42.7	84.5
幹線鉄道 複線	0.0	200.2
支線	0.0	97.0
その他、鉄道施設	6.7	105.0
合計	49.4	486.6

(典拠) Bezirk Lienz, Statistik 2019, p. 2

東ティロルの鉄道網は、単線の幹線が存在し、その中心はリーエンツ・イン・オストティロル Lienz in Osttirol 駅である。〔地図3〕参照) 東進するとすぐにケルンテン州に入りシュピタル・ミルシュテッターゼー駅に達する。そこから州内のフィルラッハ中央駅を経てクラーゲンフルト中央駅へと接続し、同時に北進してザルツブルク州にも連絡している。

クラーゲンフルト中央駅からリーエンツへは直通が運行され、所要時間は2時間35分(インターシティでは1時間44分)である。ザルツブルク中央駅からは、シュピタル・ミルシュテッターゼー駅乗り換えで所要時間3時間35分である⁽⁷⁾。

リーエンツ・イン・オストティロルから西進すると、国境を越えイタリアに入る。〔地図4〕が示すように、このルートでブレンナー峠を越えて、州都インスブルックと接続している。

現在、州都インスブルックから鉄道でリーエンツにアクセスする場合、インスブルック中央駅からブレンナー Brenner/Brennero 駅に向かい、そこからメラン Meran/Merano 行きに乗り換え、フランツェンスフェステ Franzensfeste/Fortezza 駅でイニヒェン Innichen/San Candido 行きに乗り継ぎ、イニヒェン駅からリーエンツ・イン・オストティロル駅行きに乗り継ぐ。およそ4時間半の行程である⁽⁸⁾。乗り継ぎ駅は、いずれも南ティロル、すなわちイタリア国内である。

『オーストリア・イタリア パリ協定(1946年)』によって、鉄道路線による東ティロル・北ティロル間の自由な旅客および貨物輸送に関する協定を締結することについて、オーストリア政府とイタリア政府の間で合意を見た⁽⁹⁾。

これに基づき、州都インスブルックと州の飛び地であるリーエンツ郡との間に、イタリア領内の南ティロルを経由する「回廊列車」Korridorzug、即ち、イタリア領内は通過し、税関・パスポート管理を行わない「特権を与えられた鉄道のトランジット輸送」Privilegierter Eisenbahn-Durchgangsverkehr が実現した。

インスブルック中央駅とリーエンツ・イン・オストティロル駅を結ぶ回廊列車は、ティロル州政府の経費負担で当初4往復運行され、90年代末には2往復に減便されていた。

オーストリアとイタリアがシェンゲン協定に参加し、回廊列車の必要性がなくなってからも、この直通列車の運行は続けられた。

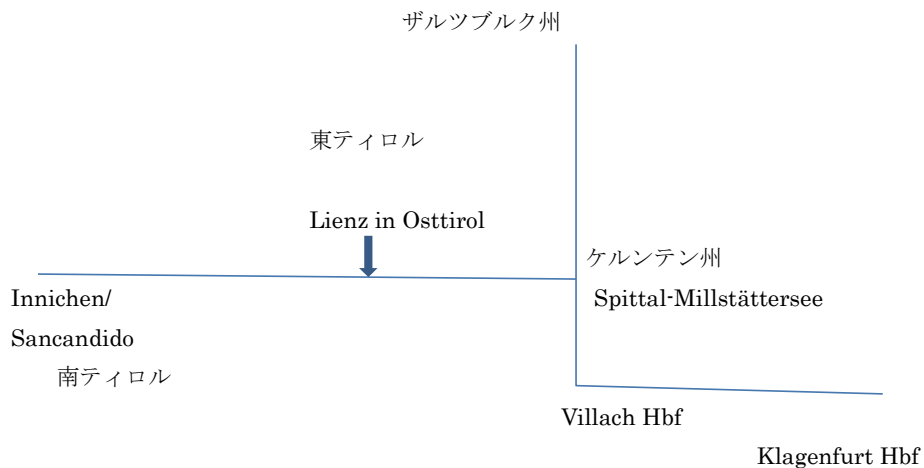
しかるに、ティロル州政府とオーストリア連邦鉄道 ÖBB は、2013年12月の時刻改正をもって直通列車の運行を停止し、バスによる代替運行を決定した⁽¹⁰⁾。

ティロル交通連合 Verkehrsverbund Tirol (略称 VVT) によると、直通列車による州都とリーエンツの連絡には3時間半を要しているが、バスによる代替によって3時間に短縮され「明らかな改善」eine deutliche Verbesserung になるといふ。鉄道の高速度工事を行えば、5千万ユーロの投資が必要であり、その負担には耐えられないとのことであった⁽¹¹⁾。

これに対して、リーエンツ市長兼州議会議員エリザベート・ブラニク Lienzer Bürgermeisterin und Landtagsabgeordnete Elisabeth Blanik (オーストリア社会民主党 SPÖ 所属) は、「バスでリーエンツからブレンナーを越えてイン

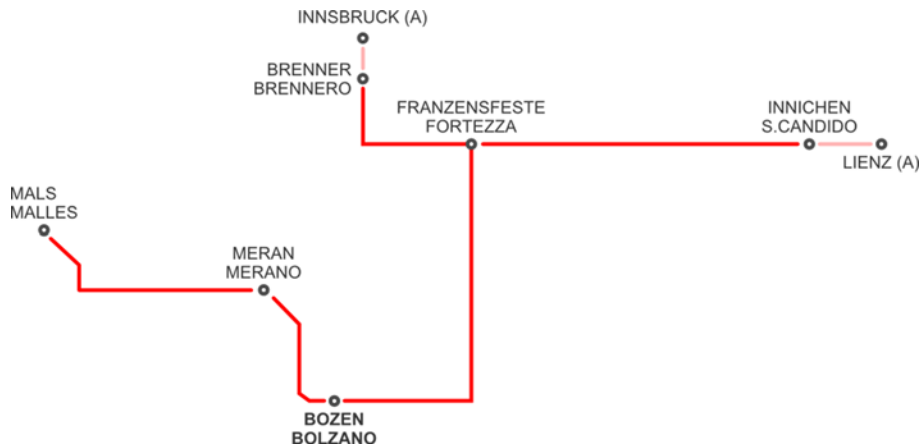
東ティロルの空間的構造と人の流れ

(地図3) 東ティロル鉄道網の概念図



(典拠) 筆者作成

(地図4) 南ティロルの鉄道網



(典拠) SAD Nahverkehr

スブルックに行くのは無理な要求だ」と述べた。ティロル州議会は、オーストリア国民党（ÖVP）とティロル緑の会派 Die Grüne Alternative Tirol の連立政権であり⁽¹²⁾、緑の会派から公共交通担当閣僚、イングリット・フェリーベ Ingrid Felipe が選出されていることから、緑の会派に対する批判がリーエンツで噴出した⁽¹³⁾。

2013年12月14日17時30分、リーエンツ発インスブルック行きの最後の直通列車の出発に合わせて集まった200名以上のデモ隊は、「緑（の会派）」はもう、うんざりだ」NIE MEHR GRÜN というプラカードを掲げていた⁽¹⁴⁾。

直通列車廃止の経緯については、シュテファン・プラスニクが当時の議会審議記録および当時の新聞記事などに依拠して詳しい分析を行っている⁽¹⁵⁾。

ティロル州議会では、ÖVP と SPÖ による連立政権が続いていた。2013年の州議会議員選挙期間中、ÖVP はインスブルック～リーエンツ間の直通列車についてその収益性と必要性について疑問視していた。「南ティロルがただ乗りしている」Südtirol nicht mitzahlt というのがその理由であった。インスブルック中心地域の S-Bahn を拡充するために、直通列車運行のための予算240万ユーロを充当することが暗黙のうちに想定されていた。

4月末に行われた選挙の後、ÖVP と緑の会派の連立政権合意文書が交わされた。筆者はこの文書を確認したが、そこには直通列車に関する記載はない⁽¹⁶⁾。

2013年5月15日、新たな交通担当閣僚、イングリット・フェリーベが就任する数日前に、当時の交通担当閣僚で

あるアントン・シュタイクスナー Anton Steixner (ÖVP) は、リーエンツ～インスブルック間の直通列車を廃止する決定に署名した。そしてそれをフェリーベは容認した。

2013年6月の初めに、二人の東ティロルの学生が中心となり、フェイスブックを通じて直通列車の維持に関する署名を開始し、2013年8月末の臨時州議会までに7,420件の署名があつまったが、そのうちおよそ6,000件が東ティロールからの署名であった。

臨時州議会では、「東ティロールを2級の郡にしてはならない。」(Osttirol darf kein Bezirk 2. Klasse werden) として野党から激しく追及された。その矛先は、緑の会派、とくにイングリット・フェリーベに向けられた⁽¹⁷⁾。

なぜ、フェリーベは前任者の決定を覆さなかったのか。

この事態は、政党間の争いではなく、北ティロールと東ティロールの対抗ではなかったか。

前交通担当閣僚であるアントン・シュタイクスナーはインスブルック市の出身で、州都を基盤に政治活動を行ってきた⁽¹⁸⁾。

現交通担当閣僚であるイングリット・フェリーベはインスブルック市に隣接するインスブルック郡ルム Rum の出身であり、インスブルック市内で高等教育を受け、かつインスブルック市内に事務所を構えている⁽¹⁹⁾。

北ティロールと東ティロールを結ぶ直通列車に投ずる経費をインスブルック中心部のS-Bahnに向けることに、交通担当閣僚の前職と現職は肯定的であったと思われる。

2. リーエンツ郡の人口動態

〔図1〕は1961年以降の人口の変化をティロール州全体とリーエンツ郡と対比させている。ティロール州全体では、およそ6割の人口増加を示しているのに対して、リーエンツ郡の人口の伸びは小さい。〔図2〕において、1961年を基準に増加率を見ると、リーエンツ郡では21世紀に入ると、人口増加が停滞していることが分かる。このような人口増加の停滞の要因をさらに検証する。

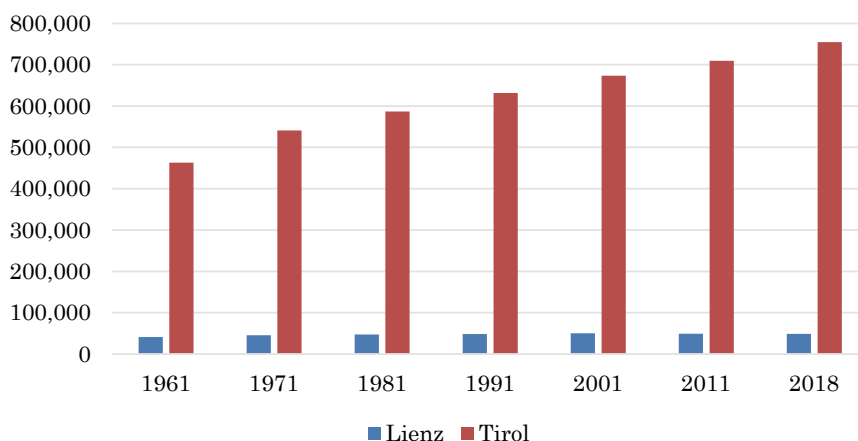
〔表3〕によれば、リーエンツ郡では、2015年を除けば、転出者が転入者を恒常的に上回っている。また、死亡が出生を上回ることが恒常化していることも〔表4〕から確認できる。

リーエンツ郡の日常的な人の流れをみると、郡外へ流出する通勤者が郡外から流入する通勤者を上回っている。

(〔表5〕参照)

このようにリーエンツ郡全体では、人口が流出的であることが確認できた。

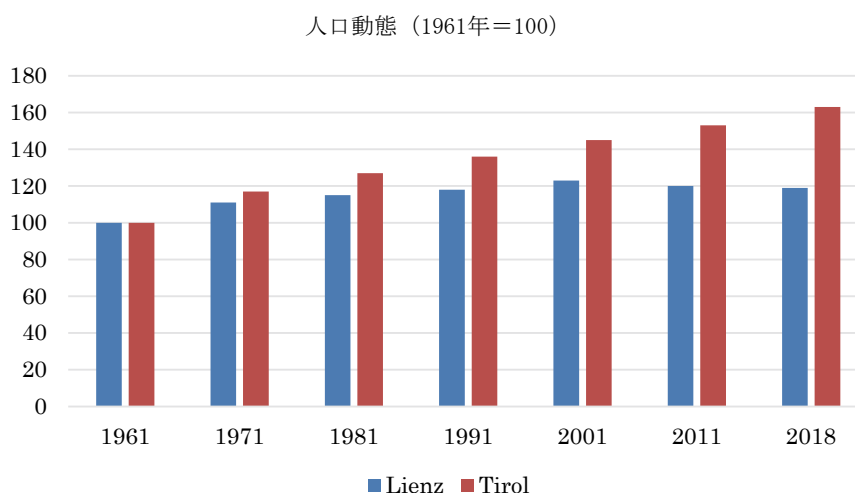
(図1) リーエンツ郡とティロール州の人口
人口動態 (リーエンツ郡とティロール州全体)



(典拠) Bezirk Lienz Statistik 2019, p. 4 より作成。

東ティロルの空間的構造と人の流れ

(図2) リーエンツ郡とティロル州の人口の増加率



(典拠) Bezirk Lienz Statistik 2019, p. 4 より作成。

(表3) リーエンツ郡における転入と転出

	転入	転出	転入-転出
2012	1,590	1,807	-217
2013	1,711	1,786	-75
2014	1,738	1,837	-99
2015	2,096	1,957	+139
2016	1,889	2,005	-116
2017	2,041	2,066	-25
2018	1,962	2,030	-68

(典拠) Bezirk Lienz Statistik 2019, p. 5

(表4) リーエンツ郡における出生と死亡

	出生	死亡	出生-死亡
2012	420	464	-44
2013	427	439	-12
2014	431	424	+7
2015	463	485	-22
2016	404	434	-30
2017	481	487	-6
2018	464	475	-11

(典拠) Bezirk Lienz Statistik 2019, p. 5

(表5) リーエンツ郡にける日常的な移動

	郡外からの通勤者	郡外への通勤者
2001	1,662	3,615
2011	2,418	4,172
2017	2,408	3,935

(典拠) Bezirk Lienz Statistik 2019, p. 8

3. リーエンツ郡の経済

次に、リーエンツ郡の経済状態を見るために雇用件数の変化を手掛かりとする。

1961年においてリーエンツ郡内の雇用は、17,253件であったが、2017年にはそれが21,906件へと増加した。これに対して、ティロル州全体では、同時期に210,522件から359,803件へと増加している。〔表6〕参照)

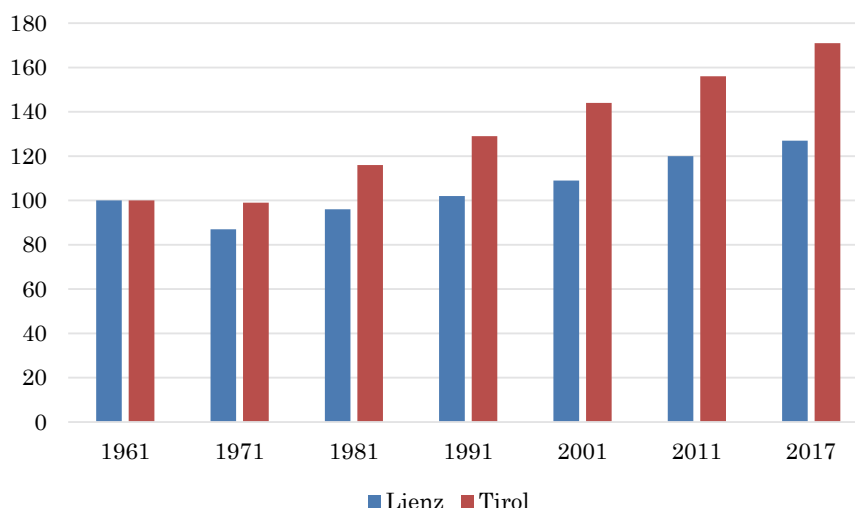
(表6) リーエンツ郡とティロル州における雇用動態

年 度	リーエンツ郡	ティロル州
1961	17,253	210,522
1971	14,964	207,802
1981	16,603	243,508
1991	17,578	272,092
2001	18,799	302,291
2011	20,677	328,399
2017	21,906	359,803

(典拠) Bezirk Lienz Statistik 2019, p. 7

1981年を基準にこの変化をみると、この間の雇用の増加は、リーエンツ郡で27%、ティロル州で71%であり、州全体の成長に東ティロルは、はるかに及ばない。〔図3〕参照)

(図3) 1961年以降、雇用の変化(リーエンツ郡とティロル州) 1961年=100



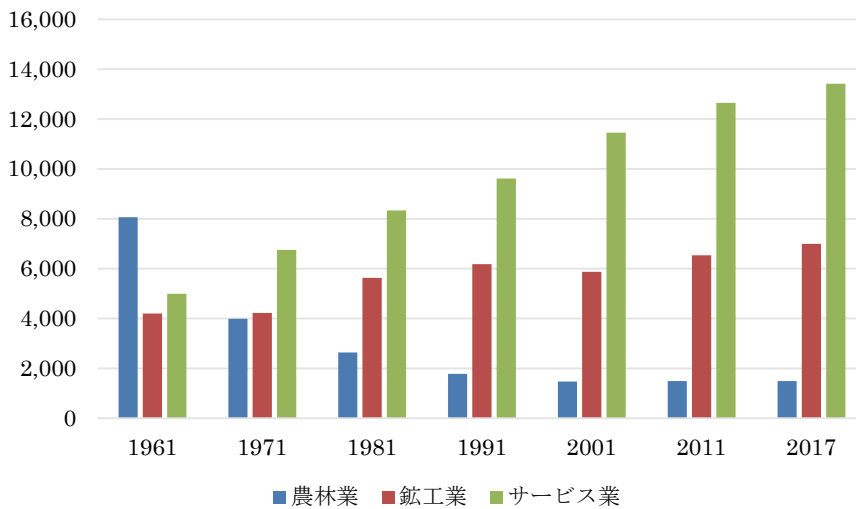
(典拠) Bezirk Lienz Statistik 2019, p. 7 より作成。

この間にリーエンツ郡の産業別就業者数はどのような変化を示したか？産業別に雇用件数の変化を〔図4〕および〔表6〕で確認する。農林業就業者は、1961年以降、1/5にまで縮小し一方、鉱工業の雇用は67%の増加、またサービス業ではおよそ2.7倍、拡大した。

おおまかにいって、第1次産業から第3次産業への構造転換が進行していることは確かである。1961年には最も大きな雇用を生んでいたリーエンツ郡の農業に触れる。

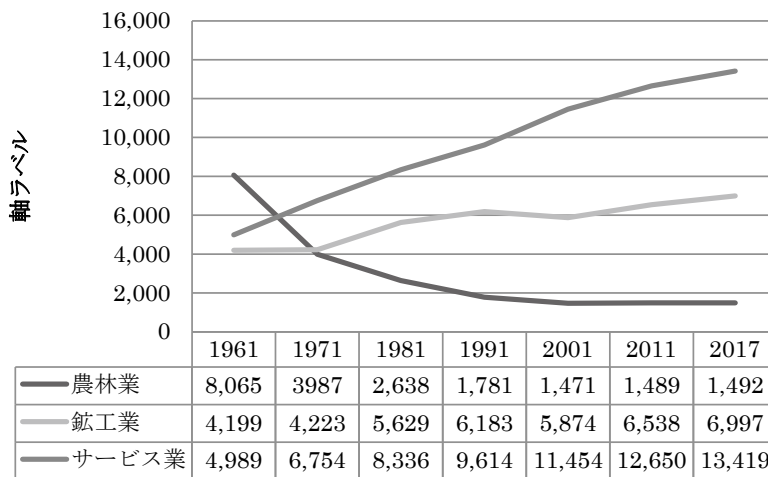
農業経営のうち、山岳農家補助金の支給対象を判断するために、内的交通状況 Innere Verkehrslage、外的交通状況 Äußere Verkehrslage、気候・土壌状況 Klima- und Bodenverhältnisse を指標化して、山岳農業経営台帳 Berghöfer-

(図4) リーエンツ郡の産業構造の変化 (雇用件数基準)



(典拠) Bezirk Lienz Statistik 2019, p. 7 より作成

(表7) リーエンツ郡における産業構造の変化 (雇用件数基準)



(典拠) Bezirk Lienz Statistik 2019, p. 7 より作成

kataster (略称、BHK) に4つのグループに分類して登録されている。困難度が最も軽度なグループ1から最も重度なグループ4まで、以下のようにになっている²⁰。

BHK-Gruppe 1: bis 90 BHK-Punkte

BHK-Gruppe 2: 91 bis 180 BHK-Punkte

BHK-Gruppe 3: 181 bis 270 BHK-Punkte

BHK-Gruppe 4: über 270 BHK-Punkte

[表8]によれば、リーエンツ郡の農業経営では、困難度が最高であるBHK4に該当するグループが24.9%を占め、ティロル州全体の値と比較して格段に高い比率を示している。

そもそも、この地域では、農業経営自体も恵まれた環境にはなかったのである。

(表8) 山岳農業経営台帳に基づく困難度グループ別経営数 (2010年)

	経営数		グループ別比率 (%)	
	リーエンツ郡	ティロル州全体	リーエンツ郡	ティロル州全体
該当なし	973	13,304	38.2	82.3
BHK1	138	2,184	5.4	13.5
BHK2	303	2,977	11.9	18.4
BHK3	497	3,000	19.5	18.6
BHK4	634	2,439	24.9	15.1

(典拠) Bezirk Lienz Statistik 2019, p. 10

4. 郡庁所在地リーエンツと人流

「毎日、オストティロルの様々な渓谷やオーバーケルンテンから、6,200人以上が仕事のために中心領域リーエンツ Zentralraum Lienz へやってくる。このような通勤者に加えて、2,400人以上の学生・生徒が毎日、通ってくる。」^[2]

このように指摘されている郡庁所在地リーエンツに関する日常的な人の流れを統計的に検証する。

マルクトゲマンデ・リーエンツにおいて就業する者は、およそ1万人であり、就学している者は、およそ3千3百人である。([表9] 参照)

(表9) マルクトゲマンデ・リーエンツにおける就業者、就学者 (2017年)

就 業	就 学
10,532	3,291

(典拠) Lienz Pendler Statistik 2017

一方、ゲマインデ内に居住している者は、ゲマインデ外へも通勤・通学しており ([表10] 参照)、またゲマインデ外から通勤・通学する者もいる。([表11] 参照)

(表10) マルクトゲマンデ・リーエンツにおける通勤者、通学者の動向 (ゲマインデ居住者) (2017年)

	通 勤	通 学
居住地での勤務、就学	5,383	1,247
通勤移動なし	401	
ゲマインデ内移動	3,183	1,091

	通 勤	通 学
ゲマインデ外への移動	1,799	156
郡内他のゲマインデへ	1,006	15
州内他の郡へ	294	44
他の州へ	476	97
外国へ	23	

(典拠) Lienz Pendler Statistik 2017

東ティロルの空間的構造と人の流れ

〔表 11〕 ゲマインデ・リーエンツにおける就業者・就学者（ゲマインデ外からの移動）

	通 勤	通 学
ゲマインデ・リーエンツへの移動	6,948	2,200
郡内の別のゲマインデから	5,215	1,663
州内から	458	2
別の州から	1,275	535

（典拠）Lienz Pendler Statistik 2017

これらのことを踏まえ、ゲマインデ外に流出する通勤者 Auspendler およびゲマインデ内へ流入する通勤者 Einpendler について地域連関の見取り図を描こう。なお、以下の分析では通学者を除いた通勤者のみを対象とする。

（1）ゲマインデ外への通勤者

ゲマインデ・リーエンツ居住者で、ゲマインデ外への通勤者の多くは郡内の他のゲマインデに移動している。ティロル州内への通勤者は、294 名でその半数は州都へ向かう。ティロル州を越えて通勤している者も、476 名存在し、そのうちの 32% がケルンテン州に向かっている。さらにニーダーエスタライヒ州、オーバーエスタライヒ州、ザルツブルク州、シュタイヤーマルク州への通勤者に加え、ウィーン市への通勤者が 100 名を数えている。

〔表 12〕 ゲマインデ外への通勤者

郡内の他のゲマインデへ		1.006
ティロル州内へ		294
	インスブルック市へ	147
	インスブルック郡へ	57
	キッツビュール郡へ	41
国内のティロル州外へ		476
	ケルンテン州へ	154
	内	
	クラーゲンフルト市へ	29
	シュピタル・アン・デア・ドラウ郡へ	80
	ニーダーエスタライヒ州へ	29
	オーバーエスタライヒ州へ	56
	内	
	リンツ市へ	32
	ザルツブルク州へ	67
	内	
	ザルツブルク市へ	24
	シュタイヤーマルク州へ	60
	内	
	グラーツ市へ	41
	ウィーン市（都市州）へ	100
	内	
	第 10 区（Wien10Favoriten）へ	24

（典拠）Lienz Pendelziel Statistik 2017

(2) ゲマインデ外からの通勤者

次に、ゲマインデ・リーエンツに外部から通勤している者を〔表13〕で確認する。

郡内の他のゲマインデからの通勤者が、5,209に上り、これを〔表12〕でみた逆の流れと比較すると、大幅に流入超過となっていることから、ゲマインデ・リーエンツが郡の中核都市であることが分かる。ティロル州内ではインスブルック郡からの通勤者が比較的多いが、州境を越えて、ケルンテン州からの通勤者が1,187名に上り、州内の他の郡よりもケルンテン州の一部と密接な関係があることが推察される。

〔表13〕ゲマインデ外からの通勤者

郡内の他のゲマインデから		5,209
ティロル州内から	ティロル州	458
	インスブルック市から	73
	イムスト郡から	39
	インスブルック郡から	145
	キッツビュール郡から	48
	クーフシュタイン郡から	60
	ランデック郡から	22
	シュヴァーツ郡から	59
国内の他の州から	他の州	1,275
	ケルンテン州から	1,187
	内	
	ヘルマゴール郡から	114
	シュピタル・アン・デア・ドラウ郡から	1,031
	シュタイヤーマルク州から	25
	内	
グラーツ市から	21	
ウィーン市から	29	

(典拠) Lienz Pendelziel Statistik 2017

(3) 郡内の3地域との人流マトリックス

冒頭、リーエンツ郡の中心地が郡庁所在地マルクトゲマンデ・リーエンツであり、これに次ぐ中心機能を有するのはマトライとジリアンであることを指摘した。

これを踏まえ、ゲマインデ・リーエンツへの通勤者を

- (1) マトライおよびその周辺地域
- (2) ジリアンおよびその周辺地域
- (3) ゲマインデ・リーエンツ周辺地域

に分類する。

1) マトライおよびその周辺地域との人流

マトライおよびその周辺地域からマルクトゲマンデ・リーエンツへは、1000人以上の通勤者が流入している一方、後者から前者への通勤者はわずか88人であり、そのすべてがこの地域の中心地マトライ・イン・オストティロルへ向かう。ゲマインデ・リーエンツの吸引力の強さが看取できる。

フェルバータウエルン街道沿いにあるマトライ・イン・オストティロルは、国立公園ホーエ・タウエルン Nationalpark Hohe Tauern の中心地である。人口およそ5,000人であるが、ティロル州内のゲマインデでは、二番目に広い面積(277.8 km²)を持つ²²⁾。

(表 14) マトライおよびその周辺地域との人流マトリックス

ゲマインデ	ゲマインデ・リーエンツから流出する通勤者 Auspendler	ゲマインデ・リーエンツへ流入する通勤者 Eiependler
Matrei in Osttirol	88	441
Virgen		235
St.Veit im Deferegggen		52
Hopfgarten im Deferegggen		93
St.Johann im Walde		54
St.Jakob im Deferegggen		49
Prägraten an Großvenediger		111
Karls am Grossglockner		136
計	88	1,171

(典拠) Lienz Pendelziel Statistik 2017

2) ジリアンおよびその周辺地域との人流

ジリアンおよびその周辺地域へは、マルクトゲマンデ・リーエンツから 279 人が通勤し、逆に前者から後者に 558 人が通っている。リーエンツから流出している先は、ジリアン、アプファルターズバッハおよびハインフェルスのみである。

イタリアとの国境に接するジリアンは、プスター渓谷の中核をなす⁽²³⁾。

646 人が居住するアプファルターズバッハはリーエンツ郡の南西に位置し、山岳観光の拠点である⁽²⁴⁾。

ハインフェルスは、1,078m の高地に位置し、1,000 人が暮らしている。ハインフェルス山城が観光の目玉である⁽²⁵⁾。

(表 15) ジリアンおよびその周辺地域との人流マトリックス

ゲマインデ	ゲマインデ・リーエンツから流出する通勤者 Auspendler	ゲマインデ・リーエンツへ流入する通勤者 Eiependler
Silian	56	126
Ausservillgraten		42
Innervillgraten		28
Anras		136
Abfaltersbach	125	68
Strassen		61
Heinfels	98	69
Kartisch		
Obertilliach		28
Untertilliach		
計	279	558

(典拠) Lienz Pendelziel Statistik 2017

3) リーエンツ周辺地域とゲマインデ・リーエンツとの人流

ゲマインデ・リーエンツは、近隣のゲマインデから最も多くの通勤者を集め、その数は 3,447 人に上っている。一方、ゲマインデ・リーエンツから近隣への通勤者は 568 人である。

そのなかで、最も多く流出している先は、ヌスドルフ＝デバントである。

ヌスドルフ＝デバントは、3,418 人の人口を有するマルクトゲマンデである。リーエンツ盆地ではマルクトゲマンデ・リーエンツに次ぐ都市であり、ケルンテン州と接している。このことからさらにケルンテン州の一部との連続性が想起される²⁶⁾。

(表 16) リーエンツ周辺地域とゲマインデ・リーエンツとの人流マトリックス

ゲマインデ	ゲマインデ・リーエンツから流出する通勤者 Auspendler	ゲマインデ・リーエンツへ流入する通勤者 Einpendler
Nussdorf-Debant	240	723
Dölsach	74	475
Assling	63	238
Schlaiten		118
Ainet	21	185
Oberlienz	21	376
Thurn		161
Gaimberg	26	185
Leisach	34	177
Amlach	28	120
Tristach	22	362
Iselsberg-Stronach		91
Lavant	39	75
Nikolsdorf		161
計	568	3,447

(典拠) Lienz Pendelziel Statistik 2017

(4) 州内の他の郡との人流マトリックス

東ティロルはティロル州の飛び地ではあるが、州のほかの地域との人流を確認する。全体では、流出よりもゲマインデ・リーエンツへの流入者が多い。その中で、州都インスブルック市との関係では、州都の吸引力が勝っている。ただし、州都に隣接するインスブルック郡に対しては、リーエンツの吸引力が勝る。

(表 17) ゲマインデ・リーエンツとティロル州内の他の郡

	ゲマインデ・リーエンツから流出する通勤者 Auspendler	ゲマインデ・リーエンツへ流入する通勤者 Einpendler
インスブルック市	147	73
インスブルック郡	57	145
イムスト郡		39
キッツビュール郡	41	48
クーフシュタイン郡		60
ランデック郡		22
シュヴァーツ郡		59
計	245	446

(典拠) Lienz Pendelziel Statistik 2017

(5) 他の州との人流マトリックス

ゲマインデ・リーエンツから他州への通勤先では、ケルンテン州、ニーダーエスタライヒ州、ザルツブルク州、シュタイヤーマルク州、ウィーン市など、広範に広がりを見せている。一方、他の州からの通勤者で傑出しているのは隣接するケルンテン州である。

(表 18) ゲマインデ・リーエンツとティロル以外の州

	ゲマインデ・リーエンツから流出する通勤者 Auspendler	ゲマインデ・リーエンツへ流入する通勤者 Eiuspendler
ケルンテン州	154	1,187
ニーダーエスタライヒ州	29	
ザルツブルク州	67	
シュタイヤーマルク州	60	25
ウィーン市	100	29

(典拠) Lienz Pendelziel Statistik 2017

(6) ケルンテン州シュピタール・アン・デア・ドラウ郡

ゲマインデ・リーエンツとケルンテン州との人流をもう少し詳しく見てゆく。州都クラゲンフルトへは流出のみであるが、シュピタール・アン・デア・ドラウ郡からゲマインデ・リーエンツへの大量の通勤者が存在する。([表 19] 参照) シュピタール・アン・デア・ドラウ郡は、西でオストティロルと、北でザルツブルク州と接している。

(表 19) ケルンテン州との人流

	ゲマインデ・リーエンツから流出する通勤者 Auspendler	ゲマインデ・リーエンツへ流入する通勤者 Eiuspendler
クラゲンフルト市	29	
ヘルマゴール郡		114
シュピタール・アン・デア・ドラウ郡	80	1,031

(典拠) Lienz Pendelziel Statistik 2017

1) ケルンテン州シュピタール・アン・デア・ドラウ郡からの通勤者

これをゲマインデレベルまで掘り下げたのが〔表 20〕である。州道グロスグロックナー街道 (B107) および州道ドラウ溪谷街道 (B100) はリーエンツ盆地からシュピタール・アン・デア・ドラウ郡へと連絡している。([地図 2-1] 参照) [表 20] に掲げたゲマインデのうち、ベルク・イム・ドラウタル Berg im Drautal、デルラッハ・イム・ドラウタル Dellach im Drautal、グライフェンブルク Greifenburg、イアシェン Irschen、オーバードラウブルク Oberdrauburg、シュタインフェルト Steinfeld がドラウ溪谷街道沿いにある。また、グロスキルヒハイム Großkirchheim、ハイリゲンブルト・アム・グロスグロックナー Heiligenblut am Großglockner、メルトシャッハ Mörtschach、ヴィンケルン Winklern はグロスグロックナー街道に面し、グロスグロックナー街道から分岐する B106 沿いにあるのがフラタッハ Flattach、ランガースドルフ Rangiersdorf であり、いずれのゲマインデもゲマインデ・リーエンツへのアクセスが容易な地域である。

ゲマインデ・リーエンツは、州内の他の地域との関係よりも、ケルンテン州シュピタール・アン・デア・ドラウ郡との関係が密であると考えられる。

(表 20) シュピタール・アン・デア・ドラウ郡からの通勤者 (ゲマインデ別内訳)

Berg im Drautal <20603>	45
Dellach im Drautal <20604>	117
Großkirchheim <20605>	54
Flattach <20607>	20
Greifenburg <20609>	61
Heiligenblut am Großglockner <20610>	24
Irschen <20611>	221
Mörtschach <20622>	64
Oberdrauburg <20625>	123
Rangersdorf <20631>	92
Stall <20636>	49
Steinfeld <20637>	26
Winklern <20640>	93

(注) ゲマインデ名の後に記した〈数値〉は、自治体番号
(典拠) Lienz Pendelziel Statistik 2017

(7) ゲマインデ・リーエンツとティロル州以外の州都

ケルンテン州シュピタール・アン・デア・ドラウ郡がマルクトゲマインデ・リーエンツの通勤圏にあることを確認したところであるが、同州の州都クラージェンフルトとの関係は、これとは逆にゲマインデ・リーエンツがクラージェンフルトの通勤圏となっている。

そればかりか、リンツ、ザルツブルク、グラーツなどの州都および首都ウィーンに対してもゲマインデ・リーエンツがそれらの都市の通勤圏を形成していることが分かる。

(表 21) ゲマインデ・リーエンツとティロル州以外の州都

州	州都等	ゲマインデ・リーエンツから流出する通勤者 Auspendler	ゲマインデ・リーエンツへ流入する通勤者 Einpendler
ケルンテン		154	1,187
	クラージェンフルト	29	
オーバーエスタライヒ		56	
	リンツ	32	
ザルツブルク		67	
	ザルツブルク	24	
シュタイヤーマルク		60	25
	グラーツ	41	21
ウィーン		100	29
	第10区	24	

(典拠) Lienz Pendelziel Statistik 2017

小括

東ティロルにおいては、リーエンツ郡全体では、人口が停滞傾向にあり、転出者が転入者を上回り、また郡外への

通勤者が郡内への通勤者を上回っている。しかし郡庁所在地であるマルクトゲマンデ・リーエンツは、東ティロルの中核を形成し、郡内からの通勤者を集めているのみならず、州境を越えてケルンテン州の一部からも通勤者を吸収していることが分かった。このことから経済空間としてのリーエンツ盆地はドラウ渓谷まで連続している可能性を看取することができる。

このことは、東ティロルが州都インスブルックを中心とするティロル州において相対的自立性を有する可能性を示唆する。

注

- (1) Staatsvertrag von St. Germain
- (2) 南ティロルの空間的な連関については、山田徹雄〔2020〕が観光客の起点をもとに明らかにしている。ティロル州全体の通勤者について分析した研究書によると、ティロル州では、職場に到着するために通勤しているものが、1971年には就業者の30%であったが、2011年にはそれが60%にまで増加した。その要因は、交通インフラの改善と職業を持つ女性が増えたためとされている。(Pessel〔2014〕, p. 3)
- (3) Bezirk Lienz
- (4) 市(シュタット)と町村(固有のゲマインデ)の中間に位置する自治体であるマルクトゲマインデの称号は、各州の市町村法が定めている。『ティロル州市町村法』Tiroler Gemeindeordnung 第10条は、以下の規定を持つ。
 - (1) この法律の施行時点において、シュタットゲマインデもしくはマルクトゲマインデの名称を持っているゲマインデは、その名称を維持する。
 - (2) 州政府は、特別の地域的な意味を持つゲマインデに「マルクトゲマインデ」の名称を与えることができる。「シュタットゲマインデ」の名称は、州法によって与えられる。
 - (3) 「マルクトゲマインデ」の称号の授与は、ティロル官報において告知される。(Gemeindeordnung Tirol) なお、基礎自治体マルクトの定義については、山田徹雄〔2015〕, p. 358-9をも参照。
- (5) 呉羽正昭〔2011〕日本における唯一、本格的な東ティロル研究がこの論文である。
- (6) Via Michilin 9900
- (7) ÖBB Scotty Home
- (8) ÖBB Scotty fahrplan 文中、南ティロルの地名はドイツ語表記とした。
- (9) Das Abkommen 1946 Art.3 c
- (10) Niederhofer et Dokuzentrum f Eisenbahnforschung
- (11) Tiroler TZ
- (12) Landesregierung Tirol
- (13) Tirol ORF Lienz イングリット・フェリーベについては、Die GRÜNEN Tirol INGRID FELIPE を参照。
- (14) Tirol ORF Direktzug
- (15) Blaßnig〔2015〕
- (16) ArbeitsÜK Tirol 2018 交通政策に関する記述は、P.31-32
- (17) Blaßnig〔2015〕
- (18) Steixner
- (19) Landeshauptmann-st Felipe et Die GRÜNEN Tirol INGRID FELIPE
- (20) Bezirk Lienz Statistik 2019, p.10 山岳農家補助金については、石倉研〔2019〕が詳しい。
- (21) Dolomiten On Line Magazine
- (22) TV Osttirol Matri
- (23) TV Osttril Silian
- (24) TV Osttirol Abfaslersbach
- (25) TV Osttirol Heimfels
- (26) Nußdorf-Debant Gemeinde-Daten

参考資料・文献および略記 資料

Staatsvertrag von St. Germain: Bundesrecht konsolidiert: Gesamte Rechtsvorschrift für Staatsvertrag von St. Germain/ Traité de paix entre les Puissances alliées et associées et l'Autriche

Das Abkommen 1946: Das Abkommen, das am 5. September 1946 zwischen der österreichischen und der italienischen Regierung zustande gekommen ist, Art.3 c

Bezirk Lienz Statistik 2019: Land Tirol, Regionsprofil Bezirk Lienz, Statistik 2019

Gemeindeordnung Tirol: Landesrecht konsolidiert Tirol: Gesamte Rechtsvorschrift für Gemeindeordnung 2001 – TGO, Tiroler, Fassung vom

29.05.2020

Lienz Pendler Statistik 2017: Statistik Austria, Gemeinde Lienz Abgestimmte Erwerbsstatistik 2017 -Erwerbs- und Schulpendler/-innen nach Entfernungskategorie

Lienz Pendelziel Statistik 2017: Statistik Austria, Lienz Abgestimmte Erwerbsstatistik 2017 -Erwerbspendinger/-innen nach Pendelziel

Tiroler TZ: Tiroler Tageszeitung, 7.06.2013

ArbeitsÜK Tirol 2018: Verlässlich handeln. Neu denken. Arbeitsübereinkommen für Tirol 2013-2018

文献

(ドイツ語)

Blaßnig [2015]: Blaßnig, Stephan, Zug fährt ab! Die Kontroverse um die Einstellung des Direktzuges Lienz-Innsbruck, *Gaismair-Jahrbuch 2015*

Pessel [2014]: Gabriele Pessel, *Mobilität und Arbeitsplatz: Erwerbspendinger/-innen in Tirol*, Wien, 2014

(日本語)

石倉研 [2019]: 石倉研「オーストリア山岳農家の所得形成と直接支払い」(一橋大学博士学位請求論文) 2019年

呉羽正昭 [2011]: 呉羽正昭「東チロールにおける観光業と農業の共生システム」『地学雑誌』110(5), 2011年

山田徹雄 [2015]: 山田徹雄『ドイツ資本主義と観光』、日本経済評論社、2015年

山田徹雄 [2020]: 「南ティロールと観光」跡見学園女子大学『観光コミュニティ学部紀要』第5号、2020年

オンライン情報

(ドイツ語)

Die GRÜNEN Tirol INGRID FELIPE: Die GRÜNEN - Die GRÜNE Alternative Tirol, MAG. INGRID FELIPE, in interrete sub: <https://tirol.gre.at/ingrid-felipe>, 08.04.2021

Dokuzentrum f Eisenbahnforschung: Dokumentationzentrum für Eisenbahnforschung, Die Drautalbah Marburg - Innichen: Teil 6: Von Lienz nach Innichen, in interrete sub: <https://www.dokumentationszentrum-eisenbahnforschung.org/drautalbahn.htm>, 04.04.2021

Dolomiten On Line Magazine: Dolomitenstadt.at. On Line Magazine, 19. November 2018, in interrete sub: <https://www.dolomitenstadt.at/2018/11/19/taeglich-8-500-pendler-in-den-zentralraum-lienz/>, 30.05.2020

Steixner: Europaregion Tirol-Südtirol-Trentino, Anton Steixner, in interrete sub: <http://www.europaregion.info/de/anton-steixner.asp>, 09.04.2021

Bezirk Lienz: Land Tirol, Bezirk Lienz, in interrete sub: <https://www.tirol.gv.at/statistik-budget/statistik/regionsprofile/bz-lienz/>, 20.05.2020

Landesregierung Tirol: Land Tirol, Tiroler Landesregierung, in interrete sub: <https://www.tirol.gv.at/leicht-lesen/tiroler-landesregierung/>, 05.04.2021

Landeshauptmann-st Felipe : Land Tirol, Landeshauptmann-Stellvertreterin Ingrid Felipe, in interrete sub: <https://www.tirol.gv.at/regierung/ingrid-felipe/>, 09.04.2021

Nußdorf-Debant Gemeinde-Daten: Marktgemeinde Nußdorf-Debant, Gemeindedaten in interrete sub: <https://www.nussdorf-debant.at/gemeinde/infos/gemeindedaten>, 24.04.2021

Niederhofer: Wolfgang Niederhofer, Stiefkind Korridorzug, in interrete sub: <https://www.brennerbasisdemokratie.eu/?p=16864>, 24.04.2021

ÖBB Scotty Home: ÖBBSCOTTY, in interrete sub: www.oebb.at, 24.04.2021

ÖBB Scotty fahrplan: ÖBB, Scotty, in interrete sub: https://fahrplan.oebb.at/bin/query.exe/dn?start=1&_charset=UTF-8&REQ0JourneyProduct_list=0:111111111011000-000000.&SALL=1&ZALL=1&scotty_advancedSearchMode=0&REQ0JourneyDate=03.04.2021&&time=08:54&timeSel=depart&, 24.04.2021

SAD Nahverkehr: SAD Nahverkehr A.G., Das Streckennetz der Bahndienste, in interrete sub: <https://www.sad.it/de/das-streckennetz-der-bahndienste>, 03.04.2021

Tirol ORF Direktzug: Tirol ORF at, Letzter Direktzug von Lienz verabschiedet, 14.12.2013 in interrete sub: <https://tirol.orf.at/v2/news/stories/2620500/>, 05.04.2021

Tirol ORF Lienz: Tiro ORF at, Lienz - IBK: Wirbel trotz schnellerer Verbindung, in interrete sub: <https://tirol.orf.at/v2/news/stories/2587441/>, 05.04.2021

TV Osttirol Abfalsersbach: Tourismusverband Osttirol, Abfalsersbach, in interrete sub: <https://www.osttirol.com/orte-und-taeler/alle-orte/abfalsersbach/>, 24.04.2021

TV Osttirol Heimfels: Tourismusverband Osttirol, Heimfels, in interrete sub: <https://www.osttirol.com/orte-und-taeler/alle-orte/heimfels/>, 24.04.2021

TV Osttirol Matrei: Tourismusverband Osttirol. Matrei in Osttirol, in interrete sub: <https://www.osttirol.com/matrei/>, 24.04.2021

TV Osttirol Silian: Tourismusverband Osttirol, Silian, in interrete sub: <https://www.osttirol.com/orte-und-taeler/alle-orte/silian/>, 24.04.2021

Viamichilin 9900: Viamichilin, 9900 Lienz, Austria, in interrete sub: <https://www.viamichelin.com/web/Maps/Map-Lienz-9900-Tirol-Austria>, 08.06.2020

東ティロルの空間的構造と人の流れ

(英語)

East Tirol map: East Tyrol map.png, in interrete sub: https://commons.wikimedia.org/wiki/File:East_Tyrol_map.png, 05.04.2021